

<b>■After</b> <b>建築名称</b> 下段: 英語名	<b>Mediateca di Santa Teresa</b> Santa Teresa Media Library		
<b>建築用途</b>	<b>大分類</b> 図書館	<b>小分類</b> デジタル図書館	
<b>改修設計者</b>	MP2 Architetti Associati	<a href="#">URL</a>	<b>After</b> かつての教会堂にガラスのカフェが増築されたデジタル図書館
<b>所在地</b>	イタリア、ミラノ	<a href="#">Google Map</a>	
<b>改修年</b>	2003	<b>撮影者提供者</b>	柳沢伸也 (2004)
<b>建築規模</b>			<b>概要 after</b> かつての教会を国立図書館のマルチメディア分館に転用した。図書館内には本はなく、利用者は入館証の代わりにUSBを渡される。国と州、県、市による共同プロジェクト。
<b>掲載書誌</b>			
<b>賞・選定</b>			
<b>■Before</b> <b>建築名称</b>	<b>La Chiesa di santa Teresa e Giuseppe</b>		<b>概要 before</b> 祭壇には有名なStefanmaria Legnanoが描いたテレサ像が残る18世紀初頭に建てられた教会。18世紀後半、修道院弾圧により教会が閉鎖された後、タバコ工場や軍宿舍等に使用されていた。
<b>建築用途</b>	<b>大分類</b> 宗教施設	<b>小分類</b> 教会	
<b>■写真</b> Before	<b>After</b> 祭壇画などの教会の痕跡が残るデジタル図書館内部	<b>After</b> 中庭には新旧対比を意識したカフェが増築	
			
<b>撮影者提供者</b>	<b>撮影者提供者</b> 柳沢伸也 (2004)	<b>撮影者提供者</b> 柳沢伸也 (2004)	
<b>■リノベーション内容</b>	<b>キーワード</b> 用途変更、増築、対比、痕跡、文化遺産	<b>内容</b> 18世紀初頭に建てられたバロック様式の教会は、2003年、ブライデンセ国立図書館マルチメディア分館としてミラノにオープンした。館内には本は一冊もなく、教会の痕跡の残る大空間に大きな円形テーブルとパソコンが設置された。入館証の代わりにUSBを渡され、そのUSBがパソコンの起動スイッチを兼ねている。 かつての教会は、ヴォールト天井や十字型の平面などあちこちに教会の痕跡を残す。しかし長い間、タバコ工場や軍需施設等に使用されたため、壁画などの保存状態は悪く、祭壇の奥にテレサ像が一部残るのみである。隣接した中庭には、ガラスで構成されたカフェが増築され、市民の憩いの場を形成していた。 保存再生のデザイン手法としては、現代建築の材料を用いた新旧の対比を強調したデザインとなっている。	
<b>■備考</b>	開館当初は、貴重なデジタル情報やオーディオ、ビジュアル情報等に接することのできる場所として重宝されたが、インターネットの普及により、自宅から気軽にマルチメディアにアクセスできるようになると、次第に使われなくなった。残念ながら、2012年に閉鎖され、現在まで空きビルのまま放置されている。場所は都心の一等地であり、時々、新聞等で話題になっている。		
<b>■作成者</b> 氏名/所属	柳沢伸也/JIA再生部会		<b>管理者</b> 記載 SY-029